

拠出金名:国際農業研究協議グループ拠出金

国際機関等名	国際農業研究協議グループ (英文名称・略称) Consultative Group on International Agricultural Research (CGIAR)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局地球規模課題総括課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成22年度	442,054	4,703		1米ドル = 94円	100
平成21年度	691,969	6,718		1米ドル = 103円	100
平成20年度	1,267,960			円建て	100
当該拠出金の目的・用途等	研究開発プロジェクトの実施、事務所運営費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年決算)(百万ドル)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	696
1位	米国	86,300	12.8	当該年度の支出	657
2位	ドイツ財団	71,400	10.6	次年度への繰越	39
3位	世銀	50,000	7.4	会計検査機関名	
4位	英国	49,100	7.3	KPMG等	
5位	EC	42,700	6.3		
日本は11位、拠出率は2.42%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
国際農林水産業研究に対する長期的かつ組織的支援を通じて、開発途上国における食糧増産、農林水産業の持続可能な生産性向上、貧困削減に努めており、農業支援分野における我が国の重要なパートナーとなっている。また、近年国際社会の喫緊の課題となっている食料安全保障問題への対応にあたって、重要な役割を果たすことが期待されている。現在、マネジメントを抜本的に改革した新システムが機能し始めており、研究課題を結果重視の重要かつ必要なものとし、「ドナー側」と「研究者側」の各々が明瞭な説明責任を持つ仕組みとなっている。我が国はその主要研究課題にコメの研究を位置付けるよう意見し受け入れられたところ。					
邦人職員数 うち幹部以上	41人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	1,238人 3.3%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
機会を捉えて、CGIARの各研究センター幹部に対して邦人研究員の採用について働きかけを実施。					